

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

- ①本大会は、2021年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
- ②本大会では、スタートを電子音で行う。日本陸上競技連盟規則第162条の5.の（C）により、音声や動作その他の方法（ピク付き動作を含む）で他の競技者を妨害した場合、最初は注意（グリーンカード）に留めるが、繰り返し行う場合は、警告（イエローカード）を与えることがある。最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。ただし、それ以降の競技からの除外は行わない。
- ③シューズ（スパイク、ランニングシューズ含む）の厚さは、800m未満の種目とフィールド種目（三段跳を除く）は20mm以内、800m以上の種目および三段跳は25mm以内とする。また、競歩競技は40mm以内とする。規定外のシューズを使用しての競技参加は認めない。

## 2. 来場について

- ①本競技会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため無観客で行う。
- ②来場者は、その日ごとに健康チェックシート（高体連用）を必ず提出すること。提出されない場合には参加（来場）を認めない。
- ③選手および引率顧問を原則とし、必要以上の来場を控えること。

## 3. 練習について

- ①本競技場での練習は、開門（8時）からトラック種目及び砲丸投のみとし第1競技開始15分前までとする。
- ②第2競技場での練習は、開門（7時）からトラック種目のみとする。但し、投擲種目（砲丸投・ハンマー投を除く）の練習は、8時から第1競技開始10分前まで許可する。また、4日目に実施される女子円盤投に出場する競技者のみ、7:30～8:10まで練習を可能とする。その際、監督がつかない場合は認めない。投擲練習中は投擲選手以外フィールド内に立ち入ることは出来ない。
- ③練習は本競技場、第2競技場ともに次の通りを行う。  
1～2レーン周回練習、3～6レーン短距離・スピード・リレー練習、7～8レーンハードル練習  
但し、トラックでのジョギング及び集団走は禁止とする。また、状況に応じて変更する場合がある。その際は練習会場係の指示に従うこと。
- ④棒高跳・ハンマー投の練習は本競技場開門後、競技役員の指示に従って実施すること。
- ⑤競技場備え付け以外のトレーニング用具を持ち込んでの練習は原則禁止とする。特にチューブやメディシンボールなど。
- ⑥第2競技場での練習は選手のみとし、集団練習は禁止とする。
- ⑦第2競技場開門の7時以降は園路での練習を禁止とする。
- ⑧競技開始後、第2競技場でのピストルの使用は禁止する。

## 4. 競技場について

本競技場・第2競技場の競技走路及び助走路は全天候舗装である。スパイクシューズのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。（競技規則143条）

## 5. 招集について

- ①招集所は正面玄関前に設ける。
- ②招集時間を細分化しているため、招集開始及び完了時刻、現地招集時間はプログラムの競技日程欄を参照のこと。

種目	招集開始	招集完了	現地招集
トラック競技	40分前	30分前	10分前
走高跳・走幅跳・三段跳	70分前	60分前	50分前
砲丸投・円盤投・男子ハンマー投げ・やり投	70分前	60分前	50分前
女子ハンマー投	×	×	50分前
棒高跳	×	×	50分前

◎混成競技の第1種目の招集開始及び完了時間は下記の通りである。但し、2種目目以降の招集は競技開始時刻のトラック競技は20分前・フィールド競技は30分前に混成控え所（第2救護室）で行う。控え所ではマスクを着用し、感染症予防対策に努める。また、飲食は控え所以外で行う。

種 目	招 集 開 始	招 集 完 了	現 地 招 集
混成第1種目（トラック）	4 0 分 前	3 0 分 前	1 0 分 前
混成第1種目（フィールド）	5 0 分 前	4 0 分 前	1 0 分 前

③招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものととして処理する。

④招集は招集開始時刻から完了時刻までに出場する際のシューズ（スパイクシューズも含む）を持参し、招集所にて点検を受け、その場でスタートリストに○をつける。以上をもって招集を完了とする。

⑤招集完了後、トラック競技の選手は各ゲートの外で出発係の指示に従い、競技場に入場し、現地で点呼を受ける。また、フィールド競技の選手は競技場への入場を認め、現地招集時間に現地で点呼を受ける。（棒高跳びとハンマー投げは除く）

⑥2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集所競技者係に申し出て【同時出場届】を受け取り、必要事項を記入し提出すること。

⑦混成競技の競技者控え所は、第2救護室に設ける。

## 6. 棄権について

出場種目を棄権する場合には、招集開始時刻までに【欠場届】を招集所競技者係に提出すること。

【欠場届】は招集所で配布する。

## 7. 入退場について

①本競技場・第2競技場ともに選手および競技役員以外の入場は認めない。

②本競技場には申請があった学校は4名以内の入場を認める。但し、生徒または引率顧問に限る。（ビデオ撮影可）その際、T I C（正面玄関）にて貸し出したI Dカードを着用しなければならない。また、貸し出したI Dカードは毎日T I Cに返却すること。2階メインスタンド裏のゲートから入場し、メインスタンドには中央100mスタート側の階段から入る。芝生スタンドには100mスタート側連絡通路より入る。それぞれ1カ所からのみの入場となる。また、メインスタンドでは中段より上部、芝生スタンドでは最上部（コンクリート部分）で観戦する。

③コーチングエリアを4カ所設置する。（メインスタンド・両サイドスタンド・バックスタンド）

コーチングエリアへの入場は、該当選手の試技時とし、指示後は速やかに退場すること。コーチングエリア内の居座りは禁止とする。

④競技に出場する選手は「アスリートビブス（ナンバーカード）付きユニフォーム」を提示し入場すること。

⑤本競技場への入場は原則第3ゲート（200mスタート地点）とする。但し、次の種目に参加する選手は第1ゲート（フィニッシュ地点前方）を利用する。

・400m・800m・1500m・400mH・3000mSC・Aゾーン使用フィールド競技

・4×100mRに出場する選手の入退場は、1・2走者が第1ゲート（フィニッシュ地点前方）、3・4走者が第3ゲート（200mスタート地点）とする。

⑥混成競技に出場する選手が混成控え所（第2救護室）に向かう際は、配布されたI Dカードを着用して、正面玄関より入場すること。I Dカードは第1種目の現地招集時に配布する。

⑦トラック競技では競技終了後、荷物を取りに行き、極力ユニフォーム姿で入場したゲートから退場する。

\*着替えやシューズはスタート地点に残すことになる。その為、まとめられるような袋などを各自用意することが望ましい。その際、雨天になることも想定して準備すること。

⑧フィールド競技においては競技役員の指示に従い各通用門から退場する。

⑨更衣室および雨天走路内トイレの使用は女子のみとする。その際、更衣室は更衣のみに使用し、アスリートビブス（ナンバーカード）付きユニフォームを提示し、正面玄関から入場する。

## 8. アスリートビブス（ナンバーカード）について

①アスリートビブスは2枚を胸部と背部にそのままの大きさをユニフォームにつける。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部だけでもよい。

②トラック競技出場者は写真判定用の腰ナンバーカードをパンツ右側後方につける。

③競歩種目に関しては招集所で特別アスリートビブスを受け取り使用する。競技終了後ゴール地点で返却する。

## 9. トラック競技の抽選・番組編成について（レーン順・試技順）

①トラック競技予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムに示す。

②トラック競技の決勝の組、走路順は本部で抽選し、招集所に掲示する。

③混成競技において、トラック種目の組・走路順、フィールド種目の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。

10. リレー種目について

- ①リレー種目においては、競技規則に準じてメンバーを選出すること。
- ②リレー種目に出場するチームは、各招集完了時刻の1時間前までに招集所に用意してあるオーダー用紙にオーダーを記入し提出すること。また、準決勝・決勝においてもメンバー・オーダーの変更の有無にかかわらずオーダー用紙にオーダーを記入し予選に準じて招集完了時刻1時間前までに提出すること。
- ③リレー種目に出場するチームは、原則同一ユニフォームで参加しなければならない。

11. 計時について

すべてのトラック競技は写真判定（1/100秒）で行う。

12. トラック競技の準決勝・決勝進出について

①400mまでの種目及びリレー種目

同タイム者及びチームについては、写真判定を細部まで読みとり優劣を判定する。その際、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定する。それでも判定出来ない場合は、同タイム者、チームまたは代理人によって抽選する。

②800m・1500m・3000m・5000m・3000m S C の同タイム者については、次のラウンドに進出させる。

13. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は次の通りである。（天候、その他の条件で変更する場合もある）

種目	練習						
男子 走高跳	1 m 7 5	1 m 8 0	1 m 8 5	1 m 9 0	1 m 9 3	~ 3 c m	
女子 走高跳	1 m 4 0	1 m 4 5	1 m 5 0	1 m 5 5	1 m 5 8	~ 3 c m	
男子 棒高跳	3 m 7 0	3 m 8 0	4 m 0 0	4 m 2 0	4 m 3 0	~ 10 c m	
女子 棒高跳	2 m 3 0	2 m 4 0	2 m 6 0	2 m 8 0	2 m 9 0	~ 10 c m	
男子 混成走高跳	1 m 3 5	1 m 4 0	~ 5 c m	1 m 7 0	1 m 7 3	~ 3 c m	
女子 混成走高跳	1 m 2 0	1 m 2 5	~ 5 c m	1 m 4 5	1 m 4 8	~ 3 c m	

◎第1位及び南関東大会出場決定のためのバーの上げ下げは走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

14. 棒高跳支柱移動申告について

各競技者は、支柱移動申請書を招集所で受け取り、自分の希望する支柱（アップライト）の位置を記入し、跳躍審判員に提出する。

15. 競技用具について

競技に使用する用器具は、主催者が用意した物を使用する。ただし、個人所有の棒高跳用ポールは、検査に合格したものに限り使用できる。（検査は現地で行う）

16. 制限タイムについて

長距離・競歩種目において競技運営上必要と認めた場合は、レースを中止させることがある。ラスト1周が以下のタイムを超えてしまった場合

男子5000m	18分	女子3000m	13分
男子5000mW	27分	女子5000mW	33分

17. 入賞及び得点について

- ①入賞は8位までとする。南関東大会の出場権は6位までの入賞者とする。但し、走高跳・男子棒高跳は6位までの入賞者6名とする。また、混成競技・競歩競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は4位までの入賞者とする。但し、女子棒高跳は4位までの入賞者4名とする。
- ②学校対抗得点は1位8点・2位7点・3位6点・4位5点・5位4点・6位3点・7位2点・8位1点とする。
- ③各種目合計得点により男女別学校順位を決定する。（同点の場合は上位種目の多い方を上位とする）

18. 表彰について

- ①開会式（優勝旗返還式）は行わない。優勝旗返還該当校は優勝旗を本部に返還すること。
- ②表彰は、種目別で8位までに入賞した競技者及びチームを正面玄関前で結果発表のみ行う。
- ③閉会式は行わない。学校対抗で8位までに入賞した学校は、TICに賞状を取りに来ること。

19. 競技場の中に商品名のついた衣類・バックを持ち込む場合について  
競技場内に、下記規定以外の製造会社・ロゴがついた物品を持ち込むことは、規定に抵触するので慎むこと。
- ①上半身の衣類 製造会社名／ロゴ：1カ所・40cm<sup>2</sup>まで文字高さは5cm以内  
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで前後に1つずつまで。
  - ②下半身の衣類 製造会社名／ロゴ：1カ所・40cm<sup>2</sup>まで文字高さは5cm以内  
学校名／ロゴ 大きさ制限なしで1つまで。
  - ③バック・タオル（ブランケット含む）  
製造会社名／ロゴ：1個・最大40cm<sup>2</sup>まで文字高さは5cm以内
  - ④ソックス・帽子・手袋（対になっているものはそれぞれに1つずつ）  
製造会社名／ロゴ：1個・最大6cm<sup>2</sup>まで文字高さは3cm以内
20. 抗議について  
競技規則第146条による。
21. 補助役員について
- ①競技開始30分前までに第1ゲート（フィニッシュ地点前方）外に集合する。
  - ②補助員として競技場に入場する際は配布されたIDカードを身に付けること。
22. 清掃について
- ①自分で出したゴミは持ち帰りを原則とするが、競技終了後各地区で分担されている清掃場所から出たゴミについては分別処理をして所定の場所に捨てること。
  - ②各地区常任委員清掃（消毒含む）分担箇所（下記の場所を責任を持って清掃すること）
    - ・第1支部 芝生スタンド・競技場内（走路）
    - ・第2支部 メインスタンド・スタンド裏通路及びトイレ（フィニッシュ側）
    - ・第3支部 競技場周辺・第2競技場
    - ・第4支部 メインスタンド・スタンド裏通路及びトイレ（スタート側）
- ◎各清掃場所の確認は全日程において、全常任委員及び執行部で責任を持って行う。
23. 開門・場所取りについて
- ①本競技場  
開門は8時とする。各地区に割り当てられた場所の指定された入場場所から、各校代表者2名以内が入場する。割り当てられた場所への入場が終了後は、自由とする。 \*更衣室は控え場所として使用しない。
    - ・第1支部 (場所) スタンド裏中央 (入場) スタンド裏中央入口
    - ・第2支部 (場所) スタンド裏フィニッシュ側 (入場) スタンド裏フィニッシュ側入口
    - ・第3支部 (場所) 駐車場側通路 (入場) 正面玄関前
    - ・第4支部 (場所) スタンド裏100mスタート側 (入場) スタンド裏100mスタート側入口
  - ②その他場所取り
    - ・16号側緑地帯・モノレール下・体育館側石畳へのテント等設置可
    - ・体育館石畳への場所取りを希望する場合は、5月13日（木）のみ6時40分に第2競技場第3コーナー外側付近に2名以内が集合する。その後、来場した学校は空いている場所を利用してよい。初日にテントなどを設置した場所を養生テープで確保してもよい。体育館周辺は利用できない。
    - ・第2競技場内へのテント設置はできない。
    - \*上記以外の場所取りは禁止とする。
- ③諸注意
- ・各校のテント・シート等の控え場所は1か所限定とする。
  - ・樹木等にロープを巻き付ける等の傷めるような行動は慎む。
  - ・控え場所での三密の回避および消毒を徹底する。
24. その他
- ①競技会で発生した傷病については主催者側で応急処置をする。医務室はスタンド下フィニッシュ付近に置く。
  - ②横断幕・のぼり旗等については、設置をしない。
  - ③体育館前石畳においては、
  - ④各学校の荷物は全て毎日持ち帰ること。競技場内保管はいつさい認めない。但し、テントの骨組みだけは、第2競技場に置いて帰ることができる。

- ⑤貴重品は各自で責任を持って保管し、盗難、紛失等に十分注意すること。
- ⑥トランシーバー・携帯電話・スマートフォン・ビデオカメラ・音楽再生機器等競技場内に持ち込むことはできない。
- ⑦3000mSCに出場する選手は、安全のため必ずスパイクシューズを着用すること。
- ⑧三段跳の踏切位置は男子11m、女子9mとする。
- ⑨投てき競技に出場する選手は炭酸マグネシウムを持参することが望ましい。
- ⑩競技場での日傘の使用は禁止とする。但し、フィールド競技のみ天候に応じて認める。
- ⑪使用可能トイレは競技場見取り図を参照し、入場場所は次の通りである。雨天走路内トイレは正面玄関、コンコーストイレはメインスタンド裏各入場門とする。
- ⑫選手の本部への立ち入りを禁止とする。

25. 南関東大会の申し込みについて

各種目6位（走高跳・男子棒高跳は6位6名）まで、また混成競技・競歩競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投においては4位（女子棒高跳は4位4名）までの競技者は南関東大会の大会要項をT I Cにて受領すること。

- ・南関東大会申込締め切りおよび打合せ 5月19日（水） 10時30分（時間厳守）
- ・申込持参先 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場会議室